

1 審査方法

(1) 第 1 次審査（書面審査）

期限までに参加表明書（様式 2－1 から 2－3）の提出があった者について、本プロポーザル実施要領の参加資格要件をすべて満たしているか審査を行う。

(2) 第 2 次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

令和 6 年度牧之原市内における新火葬場建設に係る火葬炉設備工事業者選定プロポーザル審査会（以下「審査会」という。）において、第 1 次審査で参加資格確認ができた者から提出を受けた技術提案書についてプレゼンテーション等を実施し、審査会各委員の合計評価点が高いものから順位付けを行い、最適候補となった火葬炉設備工事業者及び次点となった火葬炉設備工事業者を特定する。

2 評価項目、配点等

各審査の評価項目や評価の視点、配点については、別紙のとおりとする。

3 合格基準点

配点合計の 60%以上で合格とする。

別紙 令和6年度 牧之原市内における新火葬場建設に係る火葬炉設備工事業者選定プロポーザル評価
基準

評価項目		配点	評価の視点
1 業務実施能力		15 点	1 企業の信頼性 2 工事請負の確実性 3 運用時の緊急体制の確立
2 燃焼計算及びシステムの考え方		20 点	1 燃焼計算の的確さ 2 火葬炉設計の信頼性
3 火葬炉設備	(1) 主燃焼炉	5 点	1 炉体構造 2 使用材料 3 設備性能 4 炉内台車 5 遺体の尊厳の確保
	(2) 再燃焼炉	5 点	1 炉体構造 2 使用材料 3 設備性能
	(3) 燃焼装置（主燃焼バーナー、再燃焼バーナー）	5 点	1 構造 2 設備性能
	(4) 排ガス処理設備	5 点	各設備の構造や機器の選定が適正か
	(5) 電気・計装設備	5 点	各制御システムが適正か
4 環境保全対策		20 点	火葬炉設備の環境対策に限定して評価する
5 火葬炉設備設置スペース		20 点	配置計画、設備更新の考えについても評価する
6 メンテナンス		20 点	考え方が適正な対応が可能なものを評価する
7 維持管理費		25 点	考え方が適正な対応が可能なものを評価する
8 工事費		20 点	要求水準書と整合性についても評価する
9 提案書	1) 火葬に関するコンセプト	15 点	火葬に対する設備の設計方針がしっかりしており、社内の火葬炉設備の開発体制が整っているものを評価する
	2) 火葬炉設備の形式・特徴	15 点	システム構成の考え方、燃焼制御の基本的な考え方、ダイオキシン類対策等公害防止対策が適正か評価する
	3) 運営に関する提案	15 点	利用しやすい運営提案や作業性の効率化が図られているものを評価する
	4) アフターサービスの考え方と体制	15 点	火葬炉設備全体の保守・点検の考え方、技術者の派遣体制を含めた緊急時の対応が適正なものを評価する
	5) 安全及び緊急停止時の対策	15 点	災害等非常時の対策、火葬中の緊急停止時の対策等の安全対策が適正なものを評価する
	6) カーボンニュートラルに向けての技術提案	15 点	カーボンニュートラルに向けての企業及び火葬炉設備における取組みを評価する
	7) コスト縮減について	15 点	イニシャルコスト及びランニング縮減の考え方が適正な対応が可能なものを評価する
	8) 施工方法に関する提案	15 点	効率的な施工方法に関する提案、工期短縮に対する施工方法についての提案が適正なものを評価する
	9) 火葬炉設備に関する提案	15 点	提案書の項目にない特徴などで、費用面を踏まえ導入可能な提案がなされているものを評価する
合 計		300 点	